

# 七転八起

～失敗しても、諦めず  
に何度も立ち上がり  
努力し続けよ～

野間中学校第3学年  
学年通信 第10号  
令和8年1月26日発行

## 2月の予定表



月	火	水	木	金	土	日
					31	1
2 朝会 生徒会レク	3 45分授業 ～9日(月)まで	4	5 公立推薦特色入試	6 公立一般出願	7	8
9 ⑥通学団会 口座振替	10 火①～③ 卒業お祝い給食 ④～⑥愛校作業	11 建国記念の日	12 木①～③ ④～⑥D T	13 ⑤⑥卒業式練習	14	15
16 朝会 ④卒業式練習 ⑤卒業式全体練習	17 ⑤⑥卒業式全体 練習	18 生徒議会	19	20	21	22
23 天皇誕生日	24	25 公立一般入試	26 公立A面接	27 公立B面接 ⑤卒業式練習 ⑥卒業式全体練習	28	1

## 後悔しない親孝行を！

学生時代に親孝行なんてできた試しがない自分がいます。散々迷惑をかけてばかりいたからこそ、高校ではがんばった姿を見せて、少しでも親孝行できたらなと思って私は高校3年間を過ごしました。意気込んで入学しましたが、思った結果も得られず、後悔していた自分が今でもいます。皆さんには、同じ思いはして欲しくありません。アドバイス程度に読んで下さい。

親は待ってくれるけれど、時間は待ってくれない。感謝を伝えるのに、特別な日はいらない。親に優しくできる人は、自分にも優しくできる。何をあげるかよりも、どれだけ想っているか。「ありがとう」は、親への最高のプレゼント。大切な人ほど、「また今度」が永遠になってしまふ。親孝行はいつかしたいではなく、「今」しかできない。会えるうちに会おう。言えるうちに言おう。感謝の言葉を。

大いなる目標を掲げ、次のステージでがんばろうと決意を固めている最中の皆さんなら、できる。この3年間でりっぱに成長した皆さんなら、言葉だけでなく、行動でも伝えられるはずです。

## 子の成長を願う、親の心



みなさんは、3月31日をもって、義務教育を終えます。この期間、みなさんを一番近くで見守ってくれた保護者は、一体どんな思いだったんだろう。想像できる範囲ですが、僭越ながら代弁させていただきます。この後の文面から保護者を親と記載させていただきますので、ご了承ください。

親は、あなたのために、自分の時間を使いました。欲しいものがあっても、あなたの必要なものを選びました。自分の遊び予定より、あなたの笑顔を優先しました。眠気よりあなたを守ることを選びました。自分の夢より、あなたの夢を応援したりました。自分の楽しみは気付けば、後回しにしていました。でも一度たりとも犠牲だとか嫌だとは思いませんでした。あなたが笑ってくれるだけで、全て報われました。親が望むのは恩返しじゃない。ただただ、あなたが幸せでいてくれること。「もう大丈夫」という言葉は嬉しいけれど、少しだけ寂しい。あんなに小さかった手が、いつの間にか届かなくなっていた。成長したね。背中を押したのは親なのに、離れていく姿が寂しくなる。ありがとうは言わなくていい。ただ元気でいてくれたら、それだけでいい。十分にしてあげなければいけないのに、何もできなくて本当に心が痛い。また、親という存在は、一番近くにいるが、何も言わずに、遠くから見守っている。叱る言葉より、心配の沈黙の方が深く多いもの。「どう?大丈夫?」の一言には、何年分もの想いが詰まっている。

心が大きく、たくましく健やかに成長した15歳の今の皆さんなら、受け止められるのではないか。残り1ヶ月の中学校生活、次のステージに向けての2ヶ月の過ごし方、これから生き方に生かしていってもらいたい。

## 祈 ☆合格☆



### 【今後の連絡】

○公立一般入試に向けての準備について

公立一般入試に向けての出願期間は6日(金)～16日(月)となっております。

住所等の入力や中学校での確認作業が必要となりますので、ご協力をお願いいたします。

○学年会計について

2月の口座振替時に学年費の6,476円（給食費1月分350円×18回+教材費176円）を請求させていただきます。

※このお便りは学校のWebページにも掲載しております。ぜひ、ご覧ください。